

## 一 教学入門（9） 信仰と実践

問1 功德と罰について次の文章を完成させなさい。

此の曼荼羅能く能く信ぜさせ給うべし、南無妙法蓮華経は師子吼の如し・いかなる病さはりをなすべ  
きや

法華経を信ずる人は・さいわいを万里の外よりあつむべし

② 諸天善神（正法を信授する人とその国土を守護する一切の神々、働き）

諸天：天界の衆生

善神：人々を支えるもの

神の護ると申すも人の心つよきよるとみえて候

③ 異体同心

異体：それぞれの個性、特質、立場

同心：志、目的を同じくすること

異体同心なれば万事を成し同体異心なれば諸事叶う事なし

日蓮が人類は異体同心なれば人人すくなく候へども大事を成じて・一定法華経ひろまりなんと覚へ候

④ 信心即生活

御みやづかいを法華経とをばしめせ

日々の生活がそのまま仏道修行の場であり、信心根本の生き方を示す場である。

現実の戦いが仏界の生命を涌现させる機縁となり、生命変革の舞台になる。

信心で開拓した生命力で生活そのものが変革されていく。

⑤ 人の振る舞い

教主釈尊の出世の本懐は人の振舞にて候けるぞ

釈尊が仏法を説いた根本目的は「人としてどう生きるか」を示すことであった。

信仰の証し：社会にあつて良識ある振る舞いを貫き、人格の輝きで職場・地域など身近な人々か  
ら信頼される存在になること。

最高の人の振る舞いとは、「人を敬う」行動である。

万人の生命の中にある仏界を尊重し、万人を敬つていく行動である。

目の前にいる一人の人を大切にしていくな実践である。

ふきしょうぼくつ

★ 不 軽 菩薩 の 実践

全ての人が仏の生命をそなえていて、仏の生命を開く可能性を持っている。

万人を仏子として尊重する生命尊厳、万人平等の思想が仏法の精神である。

日蓮仏法とは、万人平等の精神で、対話によって社会を変革していこう！との活動である。人間差別、

生命蔑視の思想と戦い、善を広げ、悪を責め抜くことが、仏法者に求められている肝要の実践であり、

仏法者、人間としての勝利の証しである。